



六華の心

酒田市立第六中学校
学校便り 第10号
校長 加藤 浩昭
令和5年7月20日

数字から見える1学期の六中

下の表は、「学校生活に関するアンケート」に対する生徒の1学期の自己評価結果です。

表の中の数字は、A（よく当てはまる）を100、B（まあまあ当てはまる）を70、C（あまり当てはまらない）を40、D（当てはまらない）を0で算出した数字の平均点です。

項目	1年生	2年生	3年生	全校
1. 自分の方から挨拶をするように心がけている。	84	86	81	84
2. 「学習六カ条」（教室掲示で確認）を守って授業に臨んでいる。	79	86	83	83
3. 時間を守って学校生活を送っている。	87	90	88	88
4. 清掃にきちんと取り組んでいる。	91	93	93	92
5. 服装や身だしなみを整えて生活を送っている。	95	96	96	96
6. 私は自分の良いところ・良さを知っている。	72	71	69	71
7. 私は学級（学年・学校）の役に立とうとしている。	74	82	82	79
8. 道徳の授業では他の人の考えに学び、自分の思いを振り返る機会にしている。	78	89	84	84
9. 人のいやがることをしないで、思いやりのある言動を心がけている。	84	92	89	88
10. けじめをもってメディア機器を使用している。	76	69	78	74
11. 自分の思いが伝わるように、書いたり、発表したりしている。	76	80	78	78
12. タブレット・PCを活用して授業に取り組んでいる。	81	78	77	79
13. 先生たちは教材や教え方をいろいろと工夫している。	89	83	87	86
14. 先生たちは自分の良さを認め、改善すべき点を指導してくれる。	87	79	86	84
15. 先生達は悩みや相談に親身になってくれる。	85	77	83	82
16. 部活動や習いごとに積極的に取り組んでいる。	92	88	88	89
17. 家庭学習に計画的に取り組んでいる。	74	69	74	72
18. 学校行事は楽しく充実している。	87	87	90	88
19. 「六華の心」（教室掲示を確認）を大事にして生活を送っている。	83	85	81	83
20. 式・集会では大きな声をだして、しっかり校歌を歌っている。	77	68	75	73

【まとめ】

- ・昨年度の1学期の数字と比較してみると全項目1～3ポイントの幅で上がり下がりがありますが、ほとんど大きな変化は見られません。ただ全体的には1ポイント下がった項目が多くありました。
- ・大きく変動したのが、**12**の「タブレット・PCを活用して授業をしている」。この項目だけは前年比で**-8**ポイントとなっています。タブレット・PCありきでないことを考慮しながらも、その有効活用については今後とも職員間で検討・研修を進めていきます。
- ・**6**、**7**については具体的な活動の中で心の交流場面を設定し、自己有用感や他者意識を育てていきます。また**10**、**17**については、保護者の皆様のお力もお借りしなければならない項目です。子どもたちの実態に係る情報を共有させていただき対応策を構築・実行していきます。

感謝！ 保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

また、生徒へのアンケートと同時期に、保護者の皆様からも Google フォームを活用したアンケートにご回答をいただきました。お忙しい中ご協力ありがとうございました。

コメント欄を通じて、六中生の良さを称賛していただいたり、校内外での良い行いをご報告いただいたり、教職員の頑張りを讃えてくださる声をたくさんいただきました。また、六中生や学校のことを思い、考え、六中の課題・改善点と考えるところをご指摘いただく声も寄せていただきました。アンケート結果と皆様の声を全職員で共有し、学期の教育活動の振り返りと2学期に向けた改善策を検討する際の大切な資料させていただきます。また、個別の事案についても対応して参ります。不明な点がございましたら、教頭または校長までお問い合わせください。

〈改めてご理解とご協力を！〉

今年度取り組んでいる「各種プリント類のメール配信について」のご意見がありました。今年度は基本的に学校便りと学級通信以外の印刷物は連絡メールでの送信し、加えて学校便りはHPに掲載するという形を取らせていただいています。その点について「メールで届くのがありがたい」というご意見と「メールでの配信は確認が漏れたり、見にくいので紙での配付を」というご意見がありました。後者のご意見もごもっともですが、このような対応に切り替えた理由を再確認させていただきます。

- ①SDG s等の考え方が浸透し、ペーパーレスへの取り組みは社会の共通認識になってきている。
- ②物価高騰の折、用紙の価格も2年前に比べて1.5倍ほどになっている。
- ③酒田市から各小中学校への配当予算が年々縮小されている現状がある。

以上のことから、現在の取り組みは今後も継続する考えです。様々な事情により、紙ベースでの配付を希望なされる場合は対応いたしますので、担任を通じてご連絡いただければと存じます。

児童会・生徒会のオンライン情報交換会

六中学区小中一貫教育推進事業の児童会・生徒会の交流部会の取り組みとして、学区小学校の児童会と本校生徒会の交流会を、7月4日にオンラインで開催しました。

限られた時間の中でしたが、各校で取り組んでいることの紹介や成果と課題について情報交換が行われました。今回は、より活発な意見交換の場を設け、それぞれの学校の取り組みの良さを認め合い、また課題解決に向けた話し合いが行われることを期待したいと思います。「中学生に発表できたことが自信になったようです」ある小学校の校長先生から連絡をいただきました。



六中生の活躍・頑張り

○第63回山形県中学校総合体育大会 相撲競技

柏戸杯(学年オープン)・3年の部 優勝 仲條峻太郎さん(3-3):全国大会出場

○令和5年度飽海地区吹奏楽コンクール 優良賞

明日から行われる県総体に先駆け、15日に相撲競技が行われました。また、吹奏楽の地区コンクールが16日に希望ホールで開催されました。共に会場に足を運びましたが、「場が持つ力」というものについて考えさせられる機会となりました。猿羽根山の相撲場(舟形町)の雰囲気、相撲は古来神事だったということを感じました。吹奏楽部の素敵な演奏は部員の皆さんの努力に加え、希望ホールという場がその素敵な演奏を引き出していると感じました。惜しくも県大会出場は叶いませんでしたが、本当に素晴らしい演奏でした。日々の授業、部活動等の学校生活の中でも「場を整える」、「場を意識する(させる)」ことを大切にしていきたいと改めて考えさせられました。